

島根県健康福祉部健康増進課調整監

永江直美先生

「看護の基礎教育のあり方に関する懇談会ヒアリングにおける意見について」
～地域における看護職に求められる役割等について～

島根県健康福祉部健康推進課 永江尚美

1. 10年後、20年後想定される社会環境について

1) 社会構造の変化

- ・総人口の減少、平均寿命の伸長、高齢化の上昇、出生率の低下による少子時代
- ・母子・父子家庭の増加、シングルライフを楽しむ世代の増加
- ・女性の社会進出、高齢者の雇用拡大による労働力の向上
- ・個人の生活スタイルにあわせた生活設計ができる就労形態、自宅勤務者の増加
- ・男女問わずに育児休業、看護休暇、介護休暇等の利用促進
- ・都道府県の広域化（道州制？）、市町村の更なる広域合併

2) 生活スタイルの変化

- ・男女の役割分担意識が薄れ、男女共同（協働）による家事・育児の実施
- ・仕事優先の考え方が薄れ、家族とのふれあい、自己を高める活動時間の増加
- ・少子に伴う子ども優先の家庭生活環境への移行
- ・個としての生活が増加する時代

3) 子どもを取り巻く環境の変化

- ・多様な働き方が普及し、夜間保育・障害児保育・病児保育など、多様な保育サービスが充実
- ・育児に関する24時間相談体制、ITを活用した子育て情報機能の充実

4) 高齢者を取り巻く環境の変化

- ・夫婦のみで暮らす高齢者世帯、女性のひとり暮らし高齢者の増加
- ・高齢に伴う認知症のある高齢者の増加
- ・高齢者の社会参加の活発化による自立高齢者の増加
- ・高齢者自らボランティアを推進し高齢者が地域社会を支援
- ・在宅維持の困難な後期高齢者は、老人ホーム・介護施設等への入居が増加

5) 保健・医療・福祉を取りまく環境の変化

- ・医療の機能分化、総合病院が統合・拠点化（？）、在宅医療が充実
- ・地域におけるホームドクター・ホームナースが一般化
- ・医療機器を装着した医療依存度の高い人達の自宅療養が促進
- ・高齢者介護において、身体ケアに加え認知症ケアの必要性増大
- ・医療専門職種が協同した在宅チーム医療サービス産業が進出（？）
- ・訪問看護・訪問介護の充実、開業保健師・開業看護師・開業栄養士も進出（？）
- ・民間のサービス産業が拡大し、行政サービスは監視・調整・専門的機能業務（？）
- ・生涯現役高齢社会における生活習慣病予防・介護予防・QOL向上対策の強化
- ・新たな感染症、健康被害等の健康危機管理体制の充実
- ・保健、医療、福祉のサービスを買う時代

2. 様々な社会環境の変化において期待される看護の機能・役割について

1) 保健分野における看護職の機能・役割

- ・健康長寿な高齢社会に対応した疾病予防・疾病管理・介護予防を重視した保健活動
- ・新たな社会資源・地域資源の発掘および民間と連携した地域資源づくり
- ・様々な民間団体等の参入による健康支援活動の調整、情報整理、資質向上の支援
- ・安心して生活できる地域、健康なまちづくりのための環境づくり
- ・超高齢社会を担う若年高齢者等が、自己実現を可能にする生きがい支援
- ・地域の子ども達との共同社会の仕組みづくり
- ・人生の終末をどう送るか生き方の共有できる人づくり
- ・セーフティプロモーションの活動
- ・様々な健康被害等に対応できる健康危機管理体制の構築

2) 医療分野における看護職の機能・役割

- ・地域で展開する保育現場における病児・障害児等への医療的看護ケアの実施
- ・病児・障害児保育等を実施する保育所等施設関係者への助言・指導
- ・医療依存度の高い在宅療養者への医療的看護ケアの実施
- ・専門医療を必要とする在宅療養者の支援として専門医療機関との調整・連携づくり
- ・在宅緩和ケアを支える医療・福祉サービス機関等の情報整備
- ・死別後の遺族を支えるグリーフケア、支援するボランティアの育成、遺族相互ケア

3) 福祉分野における看護職の機能・役割

- ・ひとり暮らし高齢者・障害者を支える介護福祉ボランティアの育成
- ・地域ケアを担う人材の育成
- ・他職種間の連携チームにおけるコーディネーター

3. 看護の機能・役割を果たすために看護職員に求められる資質・能力について

- ・地域で生活する人々とのコミュニケーション能力、地域のアセスメント能力
- ・個人、家族、地域を総合的に捉え、複眼的なアプローチができる能力
- ・ニーズを施策化するための企画力、ネゴシエーション能力、リーダーシップ力
- ・様々な地域資源と看護職の持つ能力をつなぎマネジメントする能力
- ・地域の看護職である保健師のもつ公共性、専門性を活かした包括的な管理能力
- ・地域における多様な保健・医療・福祉サービスの再構築に必要な戦略的能力
- ・多様なニーズに合わせたサービスの提供ができる保健・福祉・医療のスキル
- ・医療と介護・福祉の連携、医療と福祉と住民をつなぐコーディネート能力
- ・地域包括センター・市町村保健行政・訪問看護ステーション・医療機関・介護施設等、生活を支える保健医療福祉の看護職としての高齢者生活像を把握する能力
- ・在宅緩和ケアのネットワークを活かした地域連携推進の調整能力
- ・地域における保健・医療・福祉提供サービスの実施評価、能力
- ・看護職として必要な法律等の理解力、行政施策の説明能力
- ・医療現場と地域現場をつなぐ家族調整、地域調整能力
- ・看護職自身のためのセルフケア、相互ケア能力